

Creativity Development

great books reading - how to see the world

Ryuji Yorioka · PROFESSOR / INSTITUTE OF SOCIO-ARTS AND SCIENCES

2 units 前期 月 7・8

Target) 本を読む習慣をつけます。寺田寅彦から『不都合な真実』までの古今の名著に触れ、現代社会で重要となる「世界」の多面的な捉え方について、社会人の方も交えて一緒に考え、互いに読み方や考え方の違いに触れることで、より深い理解が得られるようにします。

Outline) 「世界」の見方をテーマに、古今東西の名著を分野にとらわれずにバラエティ豊かに取り上げ、線を引きながら一緒に読みます。内容を確認したうえで、お互いに興味を引かれた箇所を披露しながら、理解を深めます。必要事項の検索ができるようにして、最後にはグループで発表を行います。また、図書館ツアーもする予定。

Keyword) 講読, 世界, 名著, 環境

Goal) 読書の習慣を養い、異なるものの見方を知ることによって社会性を培う

Schedule)

1. 授業ガイダンス
2. 文献リストの内容確認, 作品ピックアップ (取り上げる予定の作品は、池田香代子『世界がもし100人の村だったら』, 寺田寅彦『柿の種』, ユクスケル『生物から見た世界』, エンデ『モモ』, ヘッセ『デミアン』, カフカ『変身』, 鈴木孝夫『日本語と外国語』, ゴア『不都合な真実』, リヒテンベルク『リヒテンベルク先生の控え帖』など)
3. 図書館ツアー
4. 作品講読 (毎回違う作品の一部のコピーを三色ボールペン方式で読む)
5. 作品講読
6. 作品講読
7. 作品講読
8. 作品講読
9. 作品講読
10. グループ分け, テーマ選定, 文献に基づいて発表準備, ディスカッション, レジューメ作成
11. ディスカッション, 発表準備
12. ディスカッション
13. ディスカッション
14. グループ発表

15. グループ発表

16. 総括

Reference) 依岡隆児『読書のススメ～四国から、グローバルに』(徳島新聞社)

Evaluation Criteria) 授業への取り組み(出席と発表など)により総合的に評価します。

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=220796>

Contact (Office-Hour, Room, E-mail)

⇒ Yorioka (1308, +81-88-656-7143, yorioka@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL
(Office Hour: 火曜日 12時から 13時)

Note)

- ◇ リストアップされた本は各自が生協や本屋, 図書館などで手に入れておいてください。
- ◇ 本授業題目は20年度, 21年度, 22年度入学者(適用年度)が対象となります。
- ◇ 25人で受講者調整